

きつと もっと これから。



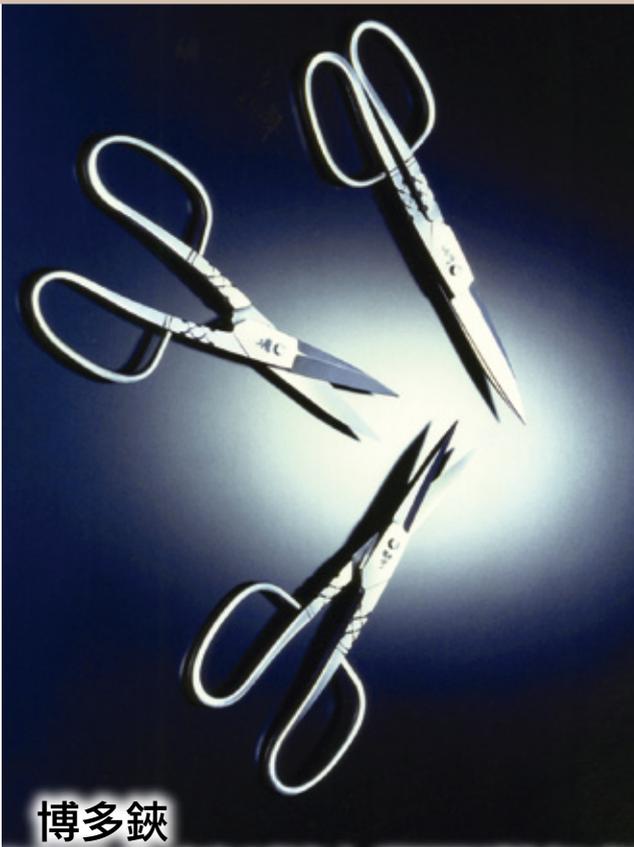
シルバー だより

1月は「入会者勧誘強化月間」です。
ご協力をお願いします。

CONTENTS

7区通信	2
実績報告・事故発生状況／駐輪場コンプライアンス研修報告／シルバーフェスティバル報告	9
わが町ぶらり散歩	10
互助会だより	11
事務局からのお知らせ	裏表紙

※シルバーだよりは、今月号から全12ページとなります。「会議開催状況」については、ホームページでの掲載のみとなります。



博多鋏

約700年前、南宋の帰化人・謝国明が博多に伝えた唐鋏(日本最古の鋏)を、安河内卯助氏が幕末の頃から造り始め、高柳亀吉氏が明治の中頃に『博多鋏』と改称して、今に受け継がれています。型を使わずに造るという製法の難しさから、今では高柳商店4代目の高柳晴一先生が、唯一『博多鋏』を作り続けています。

左右の足のバツテン模様(菱紋)と対称性が特徴で、形的美しさや世界に誇る鋭い切れ味が魅力です。



写真提供：博多伝統職の会

●街頭キャンペーンを実施



10月10日（土）午前9時より、JR箱崎駅・千早駅・香椎駅の各駅周辺で、50名の会員が参加して、リーフレットとウエットティッシュを配布し、シルバー人材センターのPRとご利用をお願いしました。

通行人の中には、「シルバーさんは利用しとるよ!」「剪定頼みよるよ!」と声をかけてもらうこともあり、「今後ともよろしくお願いします」と明るく笑顔で実施しました。

また、5月の「博多どんたく」開催時にも、東区の香椎会場でリーフレットの配布をしました。

さまざまな普及活動に取り組み、民需拡大に頑張っています!

●役員会開催



10月27日（火）10時から出張所会議室において地域班長34名と職群班長5名及び広田委員長、加藤・山本副委員長の参加で役員会が開催されました。

広田委員長の挨拶の後、27年度9月までの上半期活動状況報告がありました。会員数は、1,234人で前年同月比9人の減少、就業率は64.6%、配分金実績は1億5,404万円で前年同月比244万円の増加になっています。

安全・適正就業担当の加藤副委員長から事故発

生状況の報告があり、27年度9月までの上半期は3件の事故が発生し、前年同月比5件の減少となっています。今後も27年度の安全就業スローガン“見逃すな ヒヤリで済んだあの経験”を肝に命じて、就業中や就業途上の事故に最大限の注意をお願いしますとのことでした。

また、今後開催される地域懇談会やふれあい日帰りバス旅行、女性会員のつどいなどの行事への参加依頼がありました。

●互助会ふれあい日帰りバス旅行

～官兵衛ゆかりの地 中津観光と名物ハモしゃぶ!紅葉の「青の洞門」の旅



福沢諭吉記念館にて

互助会ふれあい日帰りバス旅行が11月10日（火）11日（水）の二日に分けて開催され、10日は55名、11日は40名の計95名の参加がありました。

西鉄香椎駅前を8時30分出発し、古賀ICから九州道・東九州道を経由し、中津市に入り、黒田官兵衛ゆかりの中津城・慶応義塾大学創設者であり、一万円札の福沢諭吉記念館などを見学しました。

昼食は、中津市内の「鬼太郎」で名物のハモしゃぶ鍋をいただきました。昼食後は、耶馬溪に移動し、青の洞門などの見学や買い物をしました。紅葉には少し早かったですが、溪谷美も楽しめました。

帰路は、日田ICから高速道を利用して午後5時頃に予定時間より早く、無事香椎に到着しました。

今回の親睦旅行を企画された幹事さんには大変お世話になり、有難うございました。

広報委員 今林 隆雄

●楽しかった親睦旅行



11月17日（火）に、水郷日田への互助会親睦旅行が行われました。雨天にもかかわらず、早朝から44名の方が博多出張所前に集合し、一路、目的地の日田温泉に向かいました。

途中、「夜明けの里 ハチミツ健康食品のカメミツ」を見学し、目的地の日田温泉「みくまホテル」には昼前に到着しました。

さっそく日田の街並みを一望できる九州一高い露天風呂に入って疲れを癒しました。その後、宴会に入り、地元の食材で作られた料理を堪能しました。

その後は、カラオケ大会です。皆さんが日頃から鍛えた自慢ののどを披露し、おいに盛り上がりました。楽しい時間はすぐに過ぎ去ります。快い疲れを感じながら次の目的地の「元気の駅・日田天領水の里」に向かいます。そこでは、日田の地元の素材で作ったお土産や果物や野菜などが売られており、それぞれ、思い思いの買い物をして博多へ帰りました。

今回の旅行は、あいにくの雨天でしたが、温泉に入り、おいしい料理をいただき、カラオケ大会で会員同士の親睦を深めることができました。

倉岡委員長に、新しい博多出張所の感想と今後の抱負を語っていただきました。

内装が新しく、日差しも入る明るい事務所で、新たな気持ちで仕事を始めています。

まだ片付いていない部分もありますが、とりあえず業務が開始できるようになりました。会員の皆さんも、新しい事務所に馴染むまで時間がかかると思いますが、出来るだけ立ち寄っていただき、どんな事務所なのか見に来てください。事務担当もがんばっています。

これからは、那珂2丁目のこの場所で福岡市シルバー人材センター博多出張所の存在をアピールし、地域に密着した活動をして行かなければなりません。

会員の皆様のご協力をいただきながら進めていこうと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

●博多出張所の移転



博多出張所は、11月21日（土）に移転を完了し、24日（火）から業務を開始しました。

新しい出張所は、筑紫通りの那珂小学校バス停から歩いてすぐのところにあります。博多駅筑紫口から1時間に10本ほどバスが運行しています。また、JR竹下駅も近く、交通の便の良いところです。

出張所の1階は倉庫になっていて、刈払班と剪定班が使用する予定です。2階が事務所と会議室になっています。駐車場のスペースは5台分しかないのですが、車で来られる方は近くの駐車場を利用していただくことになるそうです。

2階の事務所に入ると、出張所の皆さんが以前の事務所と同じ席の配置で仕事をしていて、違和感もなく、皆さんもすっかり馴染んでいるように感じました。



●地域生活安全・安心キャンペーン参加



10月9日（金）に開催された福岡中央警察署の『地域安全・安心キャンペーン』パレードに、中央出張所より岩男委員長以下約30名が参加しました。

この地域安全運動は、警察が防犯協会などの関連団体と更なる連携強化を深め、誰もが安心して安全に暮らせる地域社会の実現を目的としたものです。

キャンペーンの主なテーマは、①子供の防犯対策②女性の防犯対策③ニセ電話詐欺対策④自転車・バイク盗の防犯対策です。

福岡中央警察署は、10日からのキャンペーンを前に市民への意識向上を目的にパレードを企画しました。午後4時に、長浜公園にシルバー人材センター中央出張所など各団体が集合し決起集会の後、全員で警固公園まで『安全・安心な町を創ろう』とシュプレヒコールを繰り返しながらパレードしました。

岩男委員長は「このような地域安全活動に参加することによって、シルバー人材センターへの理解を深めて頂くと共に、これからも地域社会に貢献して行きたい」と語っていました。

●街頭キャンペーン実施



10月10日（土）午前10時より、シルバー人材センターPRのために、薬院大通や薬院駅前、六本松で地域住民の方にティッシュ入りのパンフレットを配るなどの、街頭キャンペーンを実施しました。

このような地道な活動を通じて、シルバー人材センターへの理解を深めて頂き、仕事のご依頼や会員の増加につなげていくことが大事であります。

●役員会開催



10月23日（金）に役員会が開催されました。

会議は岩男委員長の挨拶と、定例の配分金実績、安全就業、就業開拓、人事などの議題の報告や質疑がなされました。

今回は、特別に会員による駐輪場および保管所における不祥事問題と、センターの組織体制の再編成について、委員長より説明がありました。

広報委員 大津 英世

●地域懇談会



9月9日（水）から10月19日（月）の間に計7回、14時～16時、南出張所2階会議室において、地域会員・委員長・副委員長・就業開拓員・担当職員が出席して、開催されました。

高倉副委員長の開会の挨拶後、平田委員長より、下記の説明がありました。

1. 南出張所現状報告

各項目ごとに詳細な報告説明がありました。

2. これからの南出張所運営

会員に対する奉仕者としての自覚を持ち、一丸となって、温かく・明るく・楽しい雰囲気を作るよう心掛けておりますので、事務所に足を運んで頂きたいとの話がありました。

質疑応答の後、10分間の休憩をはさみ、次の議題に移りました。

3. 地域班別グループ討議

先ず自己紹介を行い、就業先の就業内容等の話で和気あいあいのなか、向こう三軒両隣の雰囲気、楽しい懇談会は終了しました。

●サイクル・ポスト利用者のマナー



南区住民より、サイクル・ポスト利用者のマナーについて区役所にご意見があり、南警察署・南区役所・街頭指導就業会員及び出張所公共担当と委員長が10月5日から8日の4日間、サイクル・ポスト利用者に対して、マナーの向上を図りました。

1ヶ月後、11月2日と4日に利用者のマナーが如何に変化しているかを覗いてみますと、サイクル・ポスト利用者のマナーアップは歴然としており、歩道はスッキリ、街全体がキレイに変わっていました。

早朝から参加頂きました皆様、お疲れさまでした。

●歴史の街『日田豆田町』を散策



恒例の互助会行事『親睦旅行』が、今年も11月11、12、13日に分かれて行われ、総勢121名の会員が参加しました。

午前のコースは、大原神社、咸宜園、^{かんぎえん}薫長酒造では「甘酒・原酒・大吟醸・40℃の焼酎」を試飲しました。

ホテル山水館での昼食は、日田の珍味を舌鼓しながら、美女のフラダンスで目の保養をしました。また、カラオケ大会では、プロ顔負けの喉自慢で楽しいひと時が過ぎました。

午後のコースでは、岳林寺、いいちこ酒造の製造所の見学後には日田限定の焼酎などを試飲するアルコール好きな人にはたまらない日帰り旅行の行程でした。

帰路は、三連水車の里に立ち寄り、買い物を楽しみました。

●第4回役員会報告

27年度上期の事業実績

10月20日（火）午前10時から城南市民センターで同役員会が開催されました。

4月から8月までの事業実績等の報告が下記の通りありました。

1. 事業報告（4－8月累計）

配分金：5990万円（前年同比103%）

構成比：公共39%、民間61%

2. 会員の状況

会員数：669人（男性433人、女性236人）

就業率：67.1%（男性63.7%、女性73.3%）

3. 事故発生状況

9月まで城南はゼロを維持していますので、今まで以上の努力をお願いいたします。

4. 今後の主要行事予定

◆会員のつどい：平成28年3月24日（木）

午前10時～12時、城南市民センター

●普及啓発強化月間

城南区の団地にポスティング



UR別府団地に集まった会員の皆さん

10月17日（土）午前9時30分から、城南区の宝台団地・UR別府・UR城西の3団地約1650世帯に、会員募集とワンコインサービス等のPRパンフレットを、会員16人が参加して配布しました。

●親睦・日帰りバス旅行

晩秋の筑後路をゆく！

恒例の会員親睦旅行が11月11日（水）と12日（木）の両日、総勢81名の参加を得て実施されました。

コースは甘木のキンピール工場を見学し原鶴温泉で昼食。帰路は浮羽・田主丸の晩秋の風景を満喫しながら紅乙女酒造と今村カトリック教会を見学し、道の駅くるめで買い物を楽しみました。



紅乙女酒造にて



●ふれあい城南フェスティバル

城南学園通りをパレード！



のぼりを手にパレードする会員

10月25日（日）、城南区役所・福岡大学・中村学園大学など城南全11校区の諸団体約1,600人が参加して、第5回ふれあい城南フェスティバルが開催されました。

城南出張所は、一昨年に続き2度目の参加で、会員54名が法被を着て「普及啓発のぼり」や「親孝行代行サービス」の横断幕（手作り）を掲げ、金山小学校から福大正門前までの約2キロをパレードしました。

●金山駅駐輪場で「自転車安全運転教室」開催



金山駅駐輪場内の特設会場

10月14日（水）午前10時から金山駅駐輪場で、地域の高齢者を対象にした『自転車安全運転教室』を開催しました。

講師は、福岡市生活安全課の末永廣志さんでDVDをもとに「生活に身近な自転車の盲点」を学習しました。

参加者は約25名。会場設営や運営について城南出張所の全駐輪場の皆さんの応援を得ました。

●「女性会員の集い」開催

9月17日(木)の午後、27年度「女性会員の集い」が、早良市民センターで女性会員79名が参加して、小早川副委員長の司会進行で開催されました。



まず、五島委員長から出張所の概況説明及び「ワンコインお助け隊」の進捗状況の説明があり、続いて本部より出席された樋口理事からは8月スタートの「親孝行代行サービス」について説明がありました。又井上理事からは「会員勧誘」と「就業先開拓」について要請がありました。最後に小田安全担当から事故状況の報告がありました。

●「ウン知育教室」開講

ウンチは健康のバロメーター

9月17日(木)に開催された「女性会員の集い」の特別講演として、「ウン知育教室」が開講されました。講師は中央ヤクルト販売株式会社の管理栄養士・林田由季さんです。



開口一番若い女性講師が、「ウンチ」と口にしたことにビックリ。しかし、聞き進むに従って、会員は「ウンチ」の中に引きこまれていきました。

話の要旨は次の通りです。

- * 食べた物は約30時間掛けて排泄される
- * 小腸は6～7mあり栄養分を吸収、また大腸では水分を吸収する
- * ウンチを見れば体の調子がわかる - ウンチ(便)は体からの大事な「お便り」
- * 便器で水に浮くウンチが理想的(水分量は80%位)
- * 色は黄色がかった褐色がいいウンチ

講義中、理化学研究所・^{べん}野義己先生による「便のはなし」のビデオを見た後、ウンチの模型が回されて、その重さ・大きさ・色を知りました。その後、「いいウンチ」を出す「腸トレ体操」を体験して終講しました。

会員にとって有意義な1時間でした。

●地域班長会開催

10月22日(木)10時から出張所会議室で、地域班長23名が出席して波多江副委員長の司会進行で地域班長会が開催されました。

まず、五島委員長から①事業概況②事故発生状況③ワンコインお助け隊の報告がありました。事業及び



ワンコインは順調に推移していますが、事故は残念ながら4月～9月で前同比5件増の8件となり、特に賠償事故が増加しています。また、11月27日に開催される「交通安全教室」の案内がありました。

続いて小早川副委員長から「会員旅行」の案内と「健康寿命」の説明がありました。最後に波多江副委員長から、健康診断受診報告の提出依頼がありました。

就業先情報

にこここ保育園 様

地下鉄七隈線の野芥駅から南に広がる野芥地区の一面に「にこここ保育園」があります。この「にこここ保育園」



は平成19年に開設されました。保育時間は午前7時から午後6時までです。

モットーとして『やさしい心は宝物・共に育つ“共育”を大切に・子どもの心の根っこを育て自分で行動できる子どもたちを育てる』を掲げています。内田園長先生は「保護者様が仕事や病気等の理由で、家庭での保育が困難な場合に、保護者様に代わって保育を行い、お子さんを心身ともに健やかに育てることを心掛けています」と言われていました。

現在、シルバー人材センター早良出張所の会員5名(男性3名・女性2名)がお世話になっております。男性会員は駐車場の案内・女性会員は清掃作業に就業しています。内田園長先生からは「他の幼稚園や保育園でシルバーさんの評判を聞き、仕事をお願いしました」「シルバーの皆さんは、長年の人生経験で仕事を適切に処理して頂いています。また園児とも仲良く接していますよ。良い方々を紹介して頂きありがとうございます」とのお言葉を頂きました。

●合同地域懇談会開催



合同地域懇談会が、9月28日（月）には周船寺公民館で、10月7日（水）と11月11日（水）には西出張所会議室で、それぞれ開催されました。

最初に、城委員長から駐輪場・保管所での不祥事における経緯と現状、シルバー人材センターの組織改変案等について説明がありました。

事業実績報告では、配分金実績は対前年比103%、会員数は1054名、就業率61.4%でした。会員拡大・就業開拓では、新入会説明会を月1回から2回に増やしたことで、派遣事業の就業が新規2件あったことやチラシ等のポスティング事業の立ち上げについて報告がありました。

●コンプライアンス推進等研修会（駐輪場）開催

駐輪場就業会員を対象としたコンプライアンス推進等研修会が10月8日（木）、9日（金）、西出張所会議室で開催されました。



これは、駐輪場・保管所の不祥事に伴って駐輪場業務のコンプライアンス違反防止のための研修会です。研修会では本部の山田係長から研修の目的と不祥事の経緯、「福岡市有料自転車駐車場業務の取り決め」等について説明がありました。そして、「駐輪場業務に必要なコンプライアンス事項は駐輪場業務で決められた決まりを守ることで」と話がありました。

各駐輪場から参加した就業会員の皆さんは、真剣に聞き入っていました。

●街頭キャンペーンを実施

西出張所では10月10日（土）に、地下鉄姪浜駅の北口と南口で、城委員長はじめ地域班長や出張所10名で、普及啓発リーフレット等を乗降客や市民の方に1,000部配布しました。シルバー人材センターの活動についての理解を深めてもらうための普及啓発活動に励みました。



●福祉・家事援助サービス班全体会議開催



福祉・家事援助サービス班全体会議が10月14日（水）に、西出張所会議室で50名の会員が参加して開催されました。

家事援助担当の樋口理事からの就業の際の注意事項等の話の後、全員でストレッチ体操をして身体をほぐしました。

櫻井家事援助担当の司会で、会員からの体験発表があり、今回始めて男性会員の発表もありました。

【要約した体験発表】

村上会員：ボウリング場で3時間ひたすら清掃作業をした後の達成感がすがすがしい。この歳で仕事があるのが嬉しい。孫に与える収入があるのも嬉しい。男性トイレの掃除は男性にして欲しい。

村岡会員：夏休みに福岡に来た孫が、就業先の子どもプラザ「とことこ」で体験した作文を紹介。孫は赤ちゃんと遊んだ思い出や、赤ちゃんのお母さんからお礼の手紙をもらったことを書き、また一緒に遊びたいと言っている。

田中会員：福祉施設に夫婦で就業している。高齢者になっても健康で仕事ができることは幸せ。

西方会員（男性）：家事援助で個人宅に3～4人の男女で就業している。下見をして、早めに訪問して時間を厳守している。十分な打ち合わせをしてトラブルがないように心がけている。

伊藤班長：出産後のお母さんの家事援助で料理を作っている。伊藤さんに任せてよかったと言われて40年の経験が活かした。また、赤ちゃんの検診について行った際おばあちゃんと間違えられ、実家の母も喜んでいたと言われ、嬉しかった。

平成27年度 実績報告

平成 27 年 10 月末現在	●会員数	6,956名	●就業者数	4,653名
	男 性	4,466名	●就業率	66.9%
	女 性	2,490名	●事業収入	12億6,416万円

平成27年度 事故発生状況

平成 27 年 10 月末現在	●傷 害 事 故	9件	(前年同期 11件)	前年度比	- 2件)
	●賠 償 事 故	22件	(前年同期 10件)	前年度比	+ 12件)
	●自 動 車 事 故	3件	(前年同期 12件)	前年度比	- 9件)
	●累 計	34件	(前年同期 33件)	前年度比	+ 1件)

賠償事故が多発しています！

賠償事故の発生が前年の倍以上のペースで発生しています。
賠償金額はすでに支払った保険料を超えており、このままでは保険の引き受けを断られる可能性があります。
事故原因は別紙のとおり、どれもちょっとした不注意によるものです。
就業時はゆとりをもって、これまで以上に注意して就業に臨んでください。

駐輪場コンプライアンス推進研修を開催しました！

— 今後は他の就業についても実施します —

駐輪場の料金未納問題等の不適切事案をふまえ、会員の皆様の意識向上のため、最初に駐輪場業務のコンプライアンス事項についての研修を 10月5日から 11月5日迄の間に計 14 回開催し、駐輪場就業会員全員（約 770 名）の方にご参加頂きました。今後も公共・民間の全業務の就業会員を対象にコンプライアンス推進研修を行ってまいりますので、会員の皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

シルバークフェスティバル開催報告

『シルバークフェスティバル2015』が10月17日(土)と18日(日)に開催されました。両日ともお天気に恵まれ、賑やかな2日間となりました。

今年は、シルバーク農園からの出品がありませんでしたが、シルバークギャラリーでの手作り品の展示販売、筆耕班による熨斗袋の筆耕の実演は、今年も多くの方に喜ばれました。また、センターのPRにも励み、多くの方にシルバーク人材センターを知っていただくことができました。

参加会員の皆様、足を運んでいただいた皆様、ありがとうございました。



昔と今の大橋と三宅（南区）



大橋

今から50年ほど前の地図を見ますと、大橋周辺は田んぼだけでした。高宮と井尻を結ぶ旧道沿いには、まばらに家が見えますが、大字三宅の集落寄りに矢台と呼ぶ所があり、数軒の家がある程度でした。

大橋と云う地名は、明治時代に道路に大庭大橋という石橋に架け直され、大きい橋で大橋と呼ぶようになりました。

昭和2～3年に、塩原から南畑に向け幅8メートルの国道が通り、続いて今の県道5号線ができ、大橋四ツ角を中心に商店が建ち並び住宅が増えていきました。

その頃、大橋駅の付近から福岡の方を見ますと、唐津線（後の筑肥線）の汽車が煙をなびかせ走るのが見えていました。

三宅の周辺も、国道と那珂川の間は一面の田んぼで、木造のガンセンター（当時筑紫病院）の他は、数件の農家が見えるだけでした。

宝満宮に続く和田4丁目の丘は、こんもりと繁った森でその中に若久への細い山道が1本ありましたが、三宅からは暗くて狭い樹林の急坂で木の根が張り出して、自転車も通れませんでした。

今は、どうでしょう。

見渡す限り、商業ビルや高層マンションが建ち並び、背振山さえ見えません。僅か50年の間に様相は一変しました。その要因は、昭和47年4月1日福岡市が政令指定都市になったこと、日本経済の発展、並びに塩原地区の区画整理事業であります。

向野旧道の湿田とその周辺の農地は完全に姿を消し、大橋駅も西側に数百メートル移転して高架になり、下部は商店や飲食街になりました。

急行電車が停車する駅に姿を変え、駅の東口はバスの24路線の中継基地となり、副都心としてふさわしい開発をしました。また、駅の西口にはオアシスとして広場が設けられ、大橋も植樹され、それに呼応して娯楽と飲食店街に姿を変えました。

大橋は、南区役所を中心に発展し各金融関係も進出して、大橋四ツ角から老司に通じる国道も拡張されました。同時に三宅も、ビル・店舗・高層マンションが建ち、市民の生活様式も大きく変化しました。

那珂川は、鯉やカヌー、春には菜の花、秋はコスモスの名所です。いずれ屋形船が浮かび、花火大会等を催す会場に発展してほしいと思います。



三宅（みらい大橋付近）

「芸能大会」開催のご案内

恒例となりました互助会主催の新春芸能大会を、平成28年1月26日(火)に開催いたします。観客の入場は無料です！ご来場をお待ちしています。

会場 ふくふくプラザ（福岡市市民福祉プラザ）
福岡市中央区荒戸3丁目3番39号

日程 平成28年1月26日（火）

時間 開場11時30分
開演12時30分から終演17時予定

表彰式 今年は各区委員長の審査による表彰があります。
※来場者には最後におみやげを準備しています。



● アクセス

公共交通機関をご利用ください

- 福岡市営地下鉄「唐人町」駅下車
4番出口から徒歩約7分
- 西鉄バス「黒門」バス停下車
徒歩約5分「福大若葉高校前」バス停
下車すぐ



互助会

サークル活動の紹介

西出張所 芝遊会(西出張所ゴルフサークル) 代表 米川 健誠

会員数38名。開催回数126回(平成27年9月末)

会員の皆さんの健康増進と相互の親睦を深める事を目的に、平成15年4月より毎月ゴルフコンペを開催しています。

ショートコースの4ホールでは、ワイワイ、ガヤガヤ言いながら、NP賞を取りに真剣になって打っている姿や、みんなの笑顔が見られるのが楽しみです。

最後の成績発表パーティではお酒は飲めないで、コーヒー、ジュース、コーラ、ノンアルコール等の好きなものを飲みながら、今日の成績順位に一喜一憂し、次回に闘志を燃やす楽しいゴルフを行っています。



事務局からのお知らせ

配分金にかかわる確定申告について

シルバー人材センターから支払われる配分金は、所得税法上では「雑所得」として取り扱われます。

従って、次に該当する場合、確定申告の必要がありますので、ご注意ください。

「雑所得控除」＝「必要経費等の控除」就業の際の交通費等は、この「必要経費等の控除」に含まれる。

収入が配分金だけの場合 1年間の配分金合計が103万円を超える場合

$$\text{所得税額} = (\text{配分金} - \text{雑所得控除 } 65 \text{ 万円} - \text{基礎控除 } 38 \text{ 万円}) \times \text{所得税率}$$

配分金の他に、公的年金収入がある場合

$$\text{所得税額} = \{ (\text{配分金} - \text{雑所得控除 } 65 \text{ 万円}) + (\text{公的年金等} - \text{公的年金等控除額}) - \text{基礎控除 } 38 \text{ 万円} - \text{その他の所得控除} \} \times \text{所得税率}$$

公的年金等控除額

65歳未満の場合

公的年金等の収入金額	公的年金等の控除額
130万円未満	70万円
130万円以上～410万円未満	年金収入×0.25 + 37.5万円
410万円以上～770万円未満	年金収入×0.15 + 78.5万円
770万円以上	年金収入×0.05 + 155.5万円

65歳以上の場合

公的年金等の収入金額	公的年金等の控除額
330万円未満	120万円
330万円以上～410万円未満	年金収入×0.25 + 37.5万円
410万円以上～770万円未満	年金収入×0.15 + 78.5万円
770万円以上	年金収入×0.05 + 155.5万円

その他の所得控除

$$\text{扶養控除額} = \text{被扶養者 } 1 \text{ 人あたりの控除額} \times \text{扶養人数}$$

◎年金所得者に係る確定申告不要制度について
公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告をすることはありません。
(注1) この場合であっても、所得税の還付を受けるための確定申告書を提出することができます。
(注2) 所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。住民税に関する詳しいことはお住まいの市区町村におたずねください。

被扶養者1人あたりの控除額

区分	控除額	内容	
			控除対象配偶者
一般：70歳未満	通常	38万円	配偶者控除
老人：70歳以上	通常	48万円	老人配偶者控除
一般：16歳以上で「特定・老人」に該当しない人	通常	38万円	扶養控除
特定：19～22歳	通常	63万円	割増扶養控除
老人：70歳以上	通常（一般）	48万円	老人扶養控除
	通常（同居）	58万円	老人扶養控除＋老親控除（10万円）

配分金等の個人情報の取り扱いについて

配分金等の個人情報は、個人情報保護法第16条・第23条により、国等の機関（税務署や市町村等）から情報の開示を求められた場合は、情報提供に応じる可能性がありますので、ご了承ください。

配分金収入、公的年金収入以外に収入がある方は、事例の取扱いとは異なります。詳細につきましては、最寄りの税務署にご相談ください。

※配分金支払証明書と会議出席等の源泉徴収票は、それぞれ平成28年1月末頃に発送いたします。

「ふくおかシルバーだより」 発行元／公益社団法人福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org